

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-05-25

古今謡曲総覧(下)

西野, 春雄

(出版者 / Publisher)

The Nogami Memorial Noh Theatre Research Institute of Hosei University /
野上記念法政大学能楽研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

Nogaku kenkyu : Journal of the Institute of Nogaku Studies / 能楽研究：
能楽研究所紀要

(巻 / Volume)

18

(開始ページ / Start Page)

49

(終了ページ / End Page)

100

(発行年 / Year)

1994-03-30

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00020451>

古今謡曲総覧（下）

西野春雄

（承前）

前稿に引き続き「古今謡曲総覧」のうち、後半の「第七美人」の項目から「第八社寺伝説」「第九天仙鬼畜」「第十精魂」「第十一名勝」「第十二祝言」「第十三近世戯謡」「第十四江戸・明治・大正・昭和の時事」「第十五西洋の戯曲・詩歌・伝説」の項目までを示すことにしたい。本稿の骨格は、前稿で述べたとおり、近代における謡曲研究の先駆的かつ画期的な業績である丸岡桂著『古今謡曲解題』（大正八年十二月）に準拠しているが、同書刊行後、七十余年を過ぎた現在、調査・研究も進み、新発見もあいついだ結果、本文が現存する作品だけでも、当時の約三倍に増えている。したがって、各項目とも大幅な増補が必要であり、それは前稿で示した「第一古代史及び古人」「第二高僧・聖賢」「第三歌人及び俊秀」「第四武人」「第五仇討」「第六世話巷説」の各項目からもうかがわれるところである。たとえば本稿では「第三歌人及び俊秀」の項目を、

一 歌人（1衣通姫、2額田王から36東常縁、37その他まで）

二連歌・俳諧師（1飯尾宗祇から5加賀の千代まで）

三 楽舞・兵法・鞠・花・香・鍛治・医術・算法・心学他（1樂舞から8心学・儒学・他まで）

四 能・平家・幸若・歌舞伎（1能から4淨瑠璃・歌舞伎まで）

五 雜（1風流・数寄者から5近代の詩人まで）

六 中国の詩人文人（1屈原から6戴安道まで）

と分類し、さらにそれぞれの項を細分類した。そして、前半の曲目総数に限つても、『古今謡曲解題』の四八七曲に対し、「古今謡曲總覽」は一三七三曲（重複曲を除き、漏れていた曲や新発見曲を追加。追加・訂正参照）を数え、三倍近く増えてるのである。こうした傾向は後半の各項目にも見られる。ちなみに、同書の第七以降の項目の大綱は、

第七 美人

一 松風村雨 二 源氏物語の女 三 在五中将と契りし女 四 小督局 五 祇王と仏 六 雜

第八 社寺仏閣

一 山城	二 大和	三 摂津	四 近江	五 伊勢	六 紀伊	七 淡路	八 讃岐	九 丹後			
十 播磨	十一 出雲	十二 筑紫	十三 尾張	十四 信濃	十五 甲斐	十六 駿河	十七 相模	十八 武藏	十九 常陸	二十 奥州	二十一 雜

第九 天仙鬼畜

一 天人 二 仙人 三 龍神 四 天狗 五 猩々 六 鬼神 七 雜

第十 精魂

一 植物 二 動物 三 雜

第十一 雜

一 名勝 二 祝言 三 明治・大正時事

となつていて、四八八「松風」から八三三「大典」（大正四年京都で行われた大正天皇即位の大典奉祝のための新作）までの三四四曲を、それぞれの項目に分類し配列していたのであるが、本稿では各項目とも大幅に増補し、後半に示した総曲目数は四倍近い一二五八曲を数えるに至つた。特に「第八社寺伝説」（解題の「社寺仏閣」を改めた）は、いわゆる「所謡」（地方謡曲）の発見に努めたこともある。ほぼ日本六十余州にわたつて、吉田東伍著『大日本地名辞書』に準拠することにしたが、江戸時代を通じて、能・謡曲の根強い人気がうかがわれるのもまことに興味深い。なお、この項目は「第一古代史及び古人」や「第二高僧・聖賢」「第三歌人及び俊秀」「第四武人」「第六世話巷説」「第九天仙鬼畜」及び「第十一名勝」とも関連する作品が少なくないが、それぞれ適宜分類し、必要に応じて重出させたものもある（その場合は、その旨を注記した）。

また「第十精魂」の項目も、本稿では、

一 植物（1松から19その他の草木まで） 二 動物（1鶯から13雜まで） 三 天象（1雪 2露）
四 貨幣 五 雜

に分け、注記のごとく植物・動物・天象の項目をさらに細かく分類した。実にさまざまな花や草木や鳥や虫・魚・貝の類が登場するが、これも能・謡曲の特色のひとつである。

さらに同書の「第十一雜」以下も、近世に多数作られた戯謔や看謔（滑稽謔）が多く発見されている近年の調査・研究成果と、近代以降の時事・事件を反映した新作曲や、西洋の詩歌戯曲や伝説に取材した新作能や英語能が創作されている今日の状況を踏まえ、つぎのように分類し直した。

第十一　名勝

第十二　祝言

第十三　近世・近代戯謡

一 戯謡・看謡　二 雜謡

第十四　江戸・明治・大正・昭和の時事

一 江戸　二 明治　三 大正　四 昭和

第十五　西洋の戯曲・詩歌・伝説

一 西洋の戯曲・詩歌　二 西洋の伝説　三 英語能

その結果本稿は、第七美人の項目は、世阿弥自筆能本が伝わる松浦佐用姫がシテの「松浦(松浦鏡・松浦姫・松浦佐用姫・松浦佐用姫)」に始まり、最後の第十五西洋の詩歌・戯曲・伝説の項目は英語能の「漂炎」で終わることになった。そして前稿で示した一三七三曲と、今回掲出した一二五八曲を合わせ、「古今謡曲総覧」は総計、二六三一曲に及ぶことになる。もとより遗漏もあるうし、曲名のみ伝わっていて本文未発見の曲や、今なお埋もれている作品も多いと思われるので、古今の謡曲総数は恐らく三千番は下るまい。なおなお、調査に努めたいと思う。

凡例的なことは前稿同様で、同名異曲には原則として甲・乙(丙・丁...)を付して、その違いを弁別し、また注意すべき古称・別称・異表記の類も掲出した。必要に応じて、二つの項目に重出した作品についてはその旨を注記した。なお、近代以降の時事に取材した曲や、近現代の作者の手になる曲については、なるべく作者名を付すようにした。

*印を付した作品は、全文は未発見ながら詞章の一部が謡物に残っているとか他の資料からその存在が確認される作品で、将来の発見を期待して掲出したものである。

第七 美人

一 松浦佐用姫

松浦鏡(松浦甲・松浦姫甲・松浦佐用姫・佐用姫)

比礼振山

二 松風村雨

松風(松風村雨・塩汲)

現在松風

夢想松風(幽靈松風)

布施畠

三 源氏物語の女及び光源氏

1 桐壺 桐壺甲 桐壺乙(竹中実作)

2 六条御息所 葵上 野宮 榴天狗(榴原)

3 葵上 (葵上)

4 明石の上 明石上甲(明石) 明石上乙 住吉詣

5 藤壺 藤壺

6 紫の上 花供養(若紫甲) 若紫乙 紫上甲 紫上乙

7 夕顔 半部(半部夕顔・夕顔上) 夕顔(源氏夕顔・五条夕顔) 鶴の林

8 玉鬘 玉鬘(玉葛・初瀬) 帰洛玉鬘

9 雲井雁 雲井雁(竹中実作)

10 落葉の宮 落葉甲(落葉宮・京落葉・小野落葉)

陀羅尼落葉(落葉乙)

11 朝顔の斎院の宮 桃園(井上貴寛作)

12 空蟬・軒端荻 蓦(暮空蟬・軒端荻・中川) 空蟬

- 13 龍月夜内侍 龍月夜 春の夜(第三の五の1にも掲出)
- 14 薫 総角(薰君)
- 15 濡標 濡標(住吉源氏)
- 16 柏木 柏木 柏木桜 小萩甲 時雨 瑞璃君
- 17 女三の宮 右衛門桜
- 18 蜻蛉の宮 蜻蛉(かげろう)
- 19 浮舟 浮舟(宇治浮舟) 木靈浮舟(樹神浮舟・木魂)
- 20 光源氏 須磨源氏(光源氏) 住吉詣(4明石の上にも掲出) 紅葉賀 幻(笠井賢一作)
- 四 在中将と契りし女
- 井筒(井筒女) 高安(高安女・河内通・笛吹松) 江藻髪(つくもがみ)甲 江藻髪乙 濡衣甲
(染川甲) 昔語 謢女 深草野甲 深草野乙
- 五 小督局
- 小督(仲国・寮の御馬) 清閑寺 琴丙(奥山愚潭作の大正の新作)
- 六 祇王と仏御前
- 祇王(二人祇王・仏祇王) 仏原(仏御前) 篠祇王(粉河祇王) 現在祇王
- 七 横 笛
- 横笛甲(滝口・滝口横笛・衡ヶ淵・苅萱横笛?) 横笛乙(幽靈横笛) 横笛丙 横笛丁 法華寺
- 八 有子内侍

有子内侍 はふり子

九 勾当内侍

勾当内侍甲 嵯峨野隱(勾当内侍乙) 往生院(勾当内侍丙)

十一 净瑠璃姫

矢矧(やはぎ) 矢矯(やばせ)

十二 雜【日本】

愛染堂 青柳塚 秋の千種 あけばの あけばの桜 浅姫 あすか寺乙 あだしの
有馬のふじ 栗津采女(栗津原) 五百川(いおがわ) いらこ崎 いはての森 うき草
薄雪 采女(猿沢) 相坂うかれ女 鶯宿梅甲(琴乙) 鶯宿梅乙 鶯宿梅丙 おかげさひ
め 荻塚 小倉塚 龐女(おぼろのおんな・ろうじょ) おにゆり 亀わり坂乙 からゐ
と乙 かんざしの原 栗栖野 けさ御前 こひ草 恋瀬川 さかさま川 狹衣(嵯峨
の原) 椎葉(竹中実作) 下紐関 志渡寺 白いと 白川関 白菊乙 白滝の前
住吉女 すみれ草 蝉小川 袖の露 田ごとの月 立山 谷川 玉川曝(たまがわさ
らし) 玉水甲(井出玉水・下帶) 玉水乙 為子(ためこ) 智鳥(ちどり。稻垣富夫作)
つくも髪丙 鶴富 石竹(なでしこ) なべかぶり 二上山 野分の前 蓮(はちす。蓮
姫・忍岡) はつねの森 はな草 浜笠 ひぐらし塚 姫の井 白通寺(びやくつうじ)
広沢池 深江浦 一上(ふたがみ。稻垣富夫作) 霽公鳥(ほととぎす。同上) 雅木
真野萱原 真間(稻垣富夫作) 三山(桜子・桂子・耳無山) 三山(観世流復曲本) 夢窓国師

紫野丙 木犀(丸岡大二作) 鳴の草茎 求塚(若菜・処女塚) 八重垣 艶女(やさじょ)
 山姫乙 山吹川 よりはのはし 六地蔵 若狭前 扇桐 遊譽上人

十三 雜【外国】

昭君(王昭君・柳の能) 褒姒(龍) 青塚 唐反魂香 揚貴妃 クレオパトラ(竹中実作)

第八 社寺伝説

一 山 城

輪藏(傳大士) 北野甲 北野乙(竹中実作) 北野詣 右近(右近馬場) 西の京 妙顯寺
 (法事日蓮) 出雲路(御靈宮) 河原寺 昆沙門(多門天甲) 多門天乙 白馬寺 初寅詣
 本願寺甲 本願寺乙(竹中実作) 聖光寺(水海・青海曼荼羅) 銀閣寺(竹中実作。第四武人の項
 の十六足利氏にも掲出) 六角堂甲 蓮華童子(真如堂甲・護法童子) 真如堂乙 見返仏
 神楽岡 証悟の弥陀 鉄人 将軍塚甲(阿弥陀峯) 将軍塚乙(土偶神) 吉田詣 獅子縁
 起 知恩院(竹中実作) 祇園乙(同上) 祇樹園 八坂 音羽山 西国廻 豊國詣甲
 (第四武人の項の十九豊臣氏にも掲出) 豊國詣乙(同上) 三十三間堂(三十三間) 五百羅漢
 加茂(矢立賀茂・矢卓賀茂) 神山榊 加茂恵心 名月加茂 御菩薩池甲(六地蔵) 御菩薩
 池(みぞろがいけ)乙 紫野の露 壬生 壬生寺 安井寺 高雄 清滝川 梅宮
 松尾(松尾山) 龍頭太夫(稻荷・額稻荷・額稻荷弘法・稻荷山) 白狐(狐・タウメ) 論議狐
 金札(伏見甲) 伏見乙(翁草) 御香宮(竹中実作) 姥絵馬 間守塚 諸葉明神(もろはみ

ようじん)

醍醐甲

聖宝　夜須良為

橋姫甲(住吉橋姫)

放生川(八幡放生会・八幡乙)

弓八幡

八幡甲(栄芳)

八幡弓(八幡山)

放生会

武内臣

石清水詣

蟹満寺

朝日

天神

降籠　錢原觀音

香水(こうずい)

手すきびの池

二 大 和

二月堂

春日山

八重桜(三笠山・東円堂)

秋篠寺

橘寺

法隆寺乙(竹中実の昭和新作)

夢殿(土岐善磨作)

矢田寺

龍田(立田・龍田姫)

立田童子

根元龍田

逆矛(天逆矛)

十握劍　代主(葛城賀茂)

一言主

葛城(雪葛城・大峯葛城)

岩橋

達磨寺甲

達磨

寺乙　越智　子嶋寺

飛鳥寺甲(第九天仙鬼畜の項の七鬼神にも重出)

面塚

(第三歌人及び俊秀の項の四の2世阿弥にも掲出)

泊瀬詣(初瀬・初瀬寺)

長谷寺

吉野の川鮎

鮎(稻垣富夫作)

朝原

宇陀山

当麻(当

麻寺)　中将姫乙　井上宮(いがみのみや)

黒駒

腰折田

いはれの野辺

梶井宮

柏手　片山　血原　鳥坂

豊浦

南叡山

箸塚

真鳥乙

南淵山(みなふちやま)

御法舟　宮滝　山口

三 河 内

道明寺(白大夫甲・土師寺)

姥が火甲(油盜)

姥が火乙

飛火

菅田(こんだ・ほんだ)

石切　河内明神(河内)

古市龍神(西琳寺)

四 和 泉

蟻通(第三歌人及び俊秀の項の一歌人の12紀貫之にも掲出)

水間寺

正高

蛸地蔵

牛滝

五 摂 津

和泉の宮 友鳥 粉川寺

岩船(磐船) 小尉(住吉小尉) 四天王寺 生玉 撰集 二柱 住吉の浜 西の宮甲
 西の宮乙(蛭子甲・恵比酒) 恵美酒祭(蛭子乙・夷講) 劍珠 難波堀江 勝尾寺 難波梅
 此花(このはな) 阿弥陀池 こやの明神 穂積明神(ほづみみょうじん) 金塔(こんとう)乙
 八雲の宮 宝寺甲 宝寺乙 吳原 留林寺 回國念佛 草刈行平 桜姫 落葉山
 鼓滝 摩耶山 深谷菊(みたにのきく) 三のむら 有馬山 入江浦 *一心寺

六 伊 賀

山室山(やまむろやま。横道万里雄作)

七 近 江

三井(三井水) 泣不動(不動) 志賀(志賀黒主。第三歌人及び俊秀の一の10大伴黒主にも掲出)
 志賀仙人 黒主乙 辛崎明神 比叡山 杖橋 鼠の宮 賴豪 歌薬師 白髭(白鬚)
 近江八景(八景龍神) 嶋廻甲 日上(景見) 石山寺 餅の宮(もちいのみや) 菅田
 日触詣 一の宮 多賀甲(日の少宮へひのわかみや) 多賀乙(明治新作) 坂田尼 醒井
 比良山 ひらの明神 伊吹明神 伊吹山 竹生島 湖水の月 地獄廻(地蔵・木地蔵)
 関明神 三尾(三尾龍神) 水尾山 青梅原 油火明神 石塔寺 竹田 筑摩江(つく
 まえ。井伊直弼作) 仏相撲 手原 大黒(大黒天) 扇塚 高嶋石 やすらまろ

八 伊勢・志摩

- 御裳濯（御裳濯川甲・鏡御裳濯・石の鏡甲） 御裳濯川乙 宮川（山田） 絵馬（斎宮絵馬）
- 斎宮 参宮 内外詣（伊勢詣。参宮の改作） 大参宮 現在難波（宝永参宮） 太々神楽
- 神々樂 三渡り甲 石の鏡乙 二見宮 二見の浦 岩戸山 鈿女（玉椿・椿） 専修寺
- 不斷桜 三社歌（両部） 関地蔵 朝熊詣 矩の松原 赤目滝 神路山 高天原甲
- 会鹿（あいか） 稲生 牛鬼 村鳥 *屋根桜
- 九 紀 伊
- 和歌天神 玉津島詣 龍神玉津島（玉津島龍神・玉津島） 月見頓阿 竈山（かまやま）
- 巻絹 藤代詣 日前杜（日前森。ひのくまのもり） 明光浦（若浦。わかのうら） 鐘巻（鐘巻）
- 道成寺・丹波鐘巻・田舎道成寺甲 道成寺 現在道成寺 再現道成寺（撞鐘） 日高川甲
- 日高川乙 千里浜（垢離竿） 九穴貝 かなやき 笠取山 くまの詣 高野山 那智滝
- 佐知 甲斐塚（三国伝来・淨土真宗・蓮如）
- 十 淡 路
- 淡路（楪葉） 伊弉諾 専光寺
- 十一 丹 波
- 氷室（氷） 魚鳥 あらゐ不動 岩屋不動
- 十二 丹 後
- 十三 但 馬
- 九世戸 天橋立甲 橋立（龍神橋立・祝言橋立・天橋立乙） 獅子乙（優願王） 網野

- 十四 播磨 温泉寺
 一夜天神 休天神 大寺甲 書写寺 書写鏡 室君(棹の歌の能) 釜が城 大歳宮
- 十五 備前 田歌 追讐会(吉道・鶴林寺・刀田山・安田吉道) 多聞寺(慶海律師。四十七佐渡にも掲出)
- 十六 美作 風の宮 鳥井石
- 十七 備中
- 十八 因幡 (なし) 猿丸神 誕生寺(第二高僧・聖賢の一高僧の11源空にも掲出)
- 十九 伯耆 吉備津宮乙(磐山) 菊の下水
- 廿 出雲 船上山(第四武人の項の十五楠木及び南朝にも掲出)
- 廿一 石見 大社 神有月(神在月) 佐太神(笹舟) 出雲龍神 酒とけの神 手形石(信濃にも掲出)
- 廿二 隠岐 柿本 石見銀(銀山)

篁(小野篁。第四武人の項の十二承久の乱にも掲出)

廿三 備後

阿武戸観音(あぶとのかんのん)

廿四 安芸

巖島 岩島詣 龍神巖島 新庄 推古桜 高懸山 鞠の浦 宮嶋龍神 龍燈

廿五 周防

二井寺 大川下 浮橋(錦帶橋)

廿六 長門

大木 和布刈(早友) 温泉

廿七 阿波 (なし)

廿八 讀岐

海人(蟹・海士・白水郎・泉郎) 現在蟹(げんざいあま) 当願暮頭(当願・当願暮當) 当願暮

頭(復曲本。西野春雄作) 万戸 金毘羅(象頭山) 松尾山 松山天狗(松山・讀岐松山。第九

天仙鬼畜の四天狗にも掲出) 白峰(しろみね。中川三郎作) 塩飽(しわく。同上) 三十六(同

上) 白鳥 蔦加茂 自然仏石

廿九 伊予

白大夫乙 金山(こがねのやま) 伊予乃湯 道後乃湯 能島(第五世話巷説の五孝子にも掲

出) 熟田津(北川忠彦作) 瞳月桜甲(初花桜・初春桜・十六夜桜) 姥桜

卅 土佐	土佐の海 入野 土佐日記 夢野 五台山 今生源太夫 蹤陀寺(さだでら)
卅一 豊後	小手巻(小環・豊後小手巻・姥竹) 羅漢(羅漢山)
卅二 豊前	卯島 宇佐宮 御法の滝(みのりのたき)
卅三 筑前	香椎(磯童・いそのわらわ・笹栗・玉持) 玉鉾 箱崎(箱崎松) 老松 補陀洛山(ふだらくせん) わたつみ かしま遊行 竈門山(かまどやま。小林静雄作) 緋桜(同上)
卅四 筑後	高良山 風浪 一夜川(ひとよがわ) 柳原 五穀 小倉 朝日寺 善導寺(第二高僧聖賢の項の二その他宗教者にも掲出)
卅五 肥前	諏訪甲(諏訪龍神) すはの明神 玉嶋(玉嶋川・鮎・松浦瀬。第一古代史及び古人の項の一の4神宮皇后にも掲出) 唐琴浜 宝石 玉の宮 渋谷 八剣明神 白雀(雲仙)
卅六 壱岐・対馬(なし)	
卅七 肥後	藤崎甲 藤崎乙 白楽天 龍神白楽天(龍神白楽) 不知火 みどり川 数鹿流(すがる)

卅八	日 向	無漏寺	垣根の桃
卅九	大 隅 （なし）	岩根山	松竹乙
四十	薩 摩	鶴戸山岩屋詣	田舎道成寺乙
四十一	若 狹	凱門山	影向滝
四十二	越 前	鶴祭（初午）	五筆（筆論）
四十三	かほの池	多田山	八百比丘尼
四十四	雷之鳥（白山。第六世話巷説の六の1恋にも掲出）		
四十五	加 賀		
四十六	細江川	豊原寺	亀破坂甲（第四の九の3にも掲出）
四十七	能 登	兼六園	好文木丙
四十八	越 中		
四十九	今八幡		
五十	細江川		
五十一	越 後		
五十二	國上寺	猿通寺（豊寺）	金谷詣
五十三	久賀躬	川越名号	畔取兵衛
五十四	五智如來	五智如來	
五十五	矢彦		

官金(かんきん)

四十七 佐渡

佐渡詣(旧名・鉄門) 地蔵の島 雨乞世阿弥(田中允作。第三歌人の項の四の2世阿弥にも重出)
多聞寺(慶海律師。十四播磨にも重出) 檀風(第五仇討の項の雜にも重出)

四十八 美濃

養老 ぼだい寺 結ぶの宮 栗栖桜甲(第三の一の36東常縁にも) 栗栖桜乙(同上) 十八樓

四十九 飛驒

藤橋

五十 尾張

源太夫(熱田甲) 热田龍神 蓬萊宮 師長乙 尾張生贊 八剣(八剣宮) 草薙(草薙劍)
笠寺甲 法海寺(法界寺) 犬寺乙 黒池龍神 火上 柿屋島

五十一 三河

龍城(たつがじょう) 凤来寺(薬師・煙巖山・利修・利修仙人) 真福

五十二 信濃

寝覚(寝覚の床・三帰の翁・三帰) 更科祐近(祐近更科・真光・真光寺) 神渡(諏訪乙) 御渡

(諏訪乙の改作) 鷹(諏訪性空) 素桜(神代桜) 梅花(ばいか) 如來善光 筑摩川

川中嶋乙(竹中実作。第四の廿雜【日本】にも掲出) 白山(しらやま?) 六道 蕎麦 犬房(いぬ
ぼう) 天白(てんぱく) 鉢持(ほこじ) 夏の雪 穂高

五十三 甲斐

身延甲(身延山・七面) 現在七面(身延乙)

五十四 遠江

小夜中山 奥津 蟹ヶ坂

五十五 駿河

富士山(富士・浅間大菩薩) 富士上人 竹取山 咲屋姫(さくやひめ) 人穴甲 人穴乙

水神森(富士川) 薩埵山 三保の景 東野 今泉(第六の五孝子1日本にも掲出)

五十六 伊豆

伊豆明神 热海 箱根龍神(箱根・善信) 治国(島渡・治国島渡) 都松 三島 水潜

五十七 相模

江島 江島童子 江島龍神 日藏上人 金印 国府津(鴻津・真楽寺・勧堂) 済証寺

大磯甲 宇賀神 千里の月

五十八 武藏

法養寺(池上詣) 池上甲 池上乙 東海寺 霞ヶ関甲 霞ヶ関乙 回向院甲(両国橋)

瓶塚(竹芝寺) 武藏鎧(回向院乙) 将門(神田) 笠(こもり) 花見 妙龍水 浅草詣

金龍山 八景金龍山 宮戸龍神(宮戸川龍神) 浅草寺 姥ヶ池 一つ家 龍神姥ヶ池

木母寺 亀井戸(亀戸) 宰府の藤 足立野(第六世話巻説の五孝子にも重出) 慈恩寺

鏡池 杖銀杏 横川坊 六阿弥陀 若草(若紫丙) 瓦塚 衣笠松 行滝 鶯杜

五十九	安房	神田神	西海寺八景	西方寺	太刀折	珠數堂	熊谷寺(ゆうごくべじ)	* 照巖寺
六十	上総	清澄	清澄寺					
六十一	下総	(なし)						
六十二	上野	碇引(大和田建樹作)	七面が淵	成田山	原木(ばらき)			
六十三	下野	足利文珠	宇都宮	古河渡(こがのわたり)	日光山(日光)	日光詣	荒神宮	白雲山
六十四	常陸	磯崎甲	磯崎乙	柳島	鬼居士(青頭巾。小西甚一作) 関谷刀			
六十五	磐城	常陸帶	鹿島甲(古曲)	要石	鹿島乙(要石の改作)	鹿嶋詣	阿黒王(阿具留王)	泊磯 (とまりのいそ) 葉山之露 靖定山 祐養園(元題「申楽謡」、仮称) 鳥之栖(とりのす)
六十六	岩代	国玉	飯野	養蚕宮(こがいのみや)	小平鴟(こひらがた。第六の五孝子1日本にも掲出)			
		柳津甲	柳津乙	白川	生卒都婆(燈台鬼)			

室山(所は奥州とのみあるが、かりにここに掲出)

六十六 陸 前

阿古屋松甲 阿古屋松乙 恥川(はづかしがわ。千歳山。第三歌人の項の一14実方にも重出)

塩竈乙 塩竈丙(名所松島) 松島 松島十八景(白井松島) 護法(名取嫗。なとりのおうな)

玉川甲(三箱) 玉川乙(第三歌人の項の一17能因法師にも重出) 宮城野丙 小萩乙 摺上(すり)

あげ) 尉が嶋 神皇 立教 視学 洋林(はんりん)

六十七 陸 中

岩手山 平泉 長卿寺(長興寺・南部。第四武人の廿雜【日本】にも掲出) 長之助

六十八 羽 前

黒川乙 大地踏 十五里原 玉松 五所王子 羽黒山

六十九 羽 後

榊の潟(うききのかた)

七十 陸 奥

津軽(津軽六郎。第四武人の廿雜【日本】にも掲出) 善知鳥(第六世話巷説の七雜にも掲出)

外浜念佛(同上)

七十一 雜【日本】

焼火山(たくびやま。雲上寺) 岩神

七十二 雜【唐土・天竺】ほか】

育王山 尼連禪河(印度の仏跡)

第九 天仙鬼畜

一 天 人

輝姫(かぐやひめ)甲 かぐや姫乙 かぐや姫丙(月の雫。津村紀三子作) 竹取 嫦娥(こ
うが。旧名・月の宮姫。片山慶次郎作) 月乙女 梅乙女 三乙女 泰山府君(続木桜)
吉野琴(吉野山甲・琴甲) 吉野天人(花見) 袖振山 五鈴天人 金山天人(かねやまてんにん)
辛崎天人 白雲天人(しらくもてんにん) 羽衣 万歳羽衣 金玉羽衣 後の羽衣(田中智
学作) 田子の浦 鈎舟 佐保山 佐保姫 山姫甲 高津仙女(たかつせんにょ)
あしひきの山 七夕(織女・彦星) 御影山 うつほ嶋 厚婦

二 仙 人

豊干(豊干禪師) 寒山拾得(寒山) 東方朔 西王母 聖德西王母(松鶴西王母・鶴西王母)
たおやめ仙人 巫山 橘甲(橘仙人) 巴園 巴園橘甲 巴園橘乙 孫思邈(そんしづく)
市人(費長坊) 蛭蝣 枕慈童甲(酈縣山) 枕慈童乙 菊慈童甲(菊士童・彭祖仙人)
彭祖 桂男 菊水慈童(菊慈童乙・菊水) 一角仙人 長伯仙人 吉野桜(八重桜・役行者)
藤代峠 久米(久米仙人・久米寺) 久米路 山家翁 投地獄 無量寿仙 与合(よごう)

三 龍 神

愛宕空也(愛宕・愛宕龍神・月の輪?) 雨乞甲(善女龍王) 雨乞乙 雨乞龍神 あらゐ龍神

厳島（第八社寺伝説の項の廿四安芸にも掲出）

龍神厳島（同上）

石神

出塩龍神

鵜丸

浦島甲

浦島乙

（龍神浦島）

河水（渴水）

苅田丸

黒池龍神

（龍神教化書。第八の五十尾張に

も掲出）

湖水龍神

金剛山

猿沢龍神

七堂供養

白玉龍神

玉津島龍神

（龍神玉津島。

第八の項の九紀伊にも掲出）

月見龍神

剣龍神

天橋龍神

（てんきょううりゅうじん）

なが

らのはし

農龍

野寺

箱根龍神

（箱根・善信。第八の項の五十六伊豆にも掲出）

早崎龍神

舟魂

松浦姫乙

三笠山龍神

（三笠龍神甲）

箕面龍神

（箕面龍神）

龍神七夕

（七夕龍神・星合龍神）

龍神鶴龜

積薪（せきしん。山階修作）

四 天 狗

右衛門嶽

大峯天狗

傘僧

葛城天狗

雲山天狗

鞍馬天狗

（第四武人の九の2義経の項目

にも重出）

車僧

三本杉

檣天狗

（第七美人の項目の三の2六条御息所にも重出）

檣天狗

（能劇

の座復曲本）

白根嵩

（しらねがだけ）

杉本

善界（是害・天台）

大会

天狗倒甲

天狗倒乙

天目山

鳶窟（鳶・鳶の岩）

羽風

箱根天狗

春雨天狗

盤石天狗

比良

の嶽

富士天狗

木劍

松山天狗

松山天狗

（能劇の座復曲本）

八重山天狗

よこ雲

芳野天狗甲（伊賀局）

吉野天狗乙

鷺の谷

雲山獄（うんぜんのだけ）

五 猩々付人魚

猩々甲（一番猩々・猩々前・中入猩々・本末猩々・丸本猩々・大猩々）

猩々乙（現行曲の猩々）

阿濃猩々（洞猩々）

和泉猩々甲

和泉猩々乙

出雲猩々

巖猩々

岩戸猩々

歌合猩々

海中猩々（龍宮猩々乙）

金沢猩々

狛形猩々甲（駒形猩々）

狛形猩々乙

颯々猩々

七人

六 天 部

猩々甲(寄合猩々・和泉猩々乙) 七人猩々乙(和泉猩々甲) 酒德猩々 祝言猩々 須磨猩々
孫次猩々(そんじしようじょう) 大瓶猩々(泰平猩々・狛形猩々丙) 玉崎猩々 難波猩々
幡豆崎猩々(駒形猩々・壺猩々) 舞楽猩々 三河猩々 山崎猩々 因幡猩々 根元猩々
雪猩々 寄合猩々(七人猩々甲) 亂舞猩々 龍宮猩々甲(三人猩々) 御香波
人魚(竹中実作)

七 鬼 神

韋馱天(律師) 第六天甲(二見浦) 第六天乙 降魔(じうま)甲 降魔乙 舍利(足疾鬼)

*労度差(牢度叉。ろうとしや)

朱雀門(都良香) 宇治橋姫(橋姫乙・鬼橋姫・貴船橋姫) 靈橋姫 橋姫丙 宇治橋乙(宇治
橋姫?) 飛鳥寺(飛鳥。第八寺社伝説の二大和にも掲出) 巖洞(鈴鹿・鈴鹿姫・鈴鹿御前・鈴鹿
田村・現在田村) 丸子(みうへが嶽) 飛雲 戸隠山 小鳥狩 變化信之(変化退治)
陀羅尼伊行 三上藤太 蟲橋 天龍鬼神 足柄山 裸鬼 妓女谷行 安達原(黒塚・糸
繅・糸繆黒塚) 授戒鬼女 かづらき女 かづらき山姥 鉄輪 つくもがみ 百物語
芥塚 蟻が谷(ひきがやつ) 雪山山伏 弓削源太 松原道成寺 吉野道成寺 泣鬼
野守(野守鏡) 山姥(山祖母) 再現山姥 都藍仙(とらんせん)

八 畜 類

石橋(獅子甲) 獅子王 龍虎 虎鷁(こがく) 殺生石 現在殺生石(那須狐) 野干

第十 精魂

一植物

- 小夜笛 篠田の森 吉田狐 ふるつか 女狼 富士の猪(ふじのしし) 駒が谷 金馬
 (こがねうま) 熊甲(佐和・第四の廿雜【日本】にも掲出) 熊乙 熊がひ 猪忠綱 猿長刀
- | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------------|---------|--------|--------------|--------------------------------|------------|-----------------|---------|-------------|-------------------|-----------------|
| 1 松 | 2 梅 | 3 桜 | 4 柳 | 5 榆 | 6 藤 | 7 杜若 | 8 山吹 | 9 蹴躅 | 10 百合 | 11 女郎花 | 12 朝顔 |
| 丁固(丁固松乙・丁固翁) | 東北(軒端梅・東北院・好文木甲) | 墨染桜(岑雄) | 遊行柳 | 正月桜(むつきざくら)乙 | 藤波 | 杜若(燕子花・八橋) | 款冬(やまぶき。酴醿へとび)甲 | 蹴躅(つづじ) | 佐葦草(津村紀三子作) | 嵯峨女郎花(現在女郎花・嵯峨僧正) | 朝顔(槿・槿花・牽牛花・躑躅) |
| 丁固松甲(多宝寺) | 好文木乙 | 仏桜 | 柳(宇治柳) | 川越桜 | 高砂(相生・相生松) | 信濃杜若 | 山吹乙 | 蹴躅岡 | 高野女郎花 | 吉野山乙 | 布引松(壁生草) |
| 高砂(相生・相生松) | 梅 | 七見草 | 六田淀 | 七見草 | 藤(多胡の藤。ただし觀世流と宝生・金剛流とはクセなどが異文) | | 山吹乙 | 舟岡 | 女郎花山伏 | 八塩 | 梅花(ばいか。五 |
| 布引松(壁生草) | 梅浜 | 吉野山乙 | 柳陰 | 吉野山乙 | | | | | 遍昭女郎花 | | |

- 13 夕顔 玉繩(田舎夕顔)
- 14 楓 六浦(六浦楓・六浦紅葉) 錦織乙(紅葉錦織)
- 15 菊 翁草乙(大沢) 翁猩々 菊 花軍(花車) 一本菊(菊合) 万葉菊
- 16 牡丹 牡丹 深見草
- 17 萩 宮城野甲(萩) 宮城野乙 宮城野の萩
- 18 芭蕉 芭蕉
- 19 その他の草木 早蕨(蕨折) あやめが谷 薄(増穂薄) 嵯峨野草 神草
- 二 動 物
- 1 鶯 鶯甲(津の梅) 鶯乙(七十二候)
- 2 鶴 田鶴 鶴甲(津村紀三子作) 鶴乙(土岐善磨作)
- 3 鷺 鷺(五位鷺) 鷺の前(鷺の口) 雪鷺(堂本正樹作)
- 4 鷄 鷄龍田(鷄) 初雪 初雪鷄
- 5 山鳥 山鳥 おろの鏡(山崎楽堂作)
- 6 鳴 鳴立沢甲 新鳴立沢(鳴立沢乙) 鳴のねぐら
- 7 鴛鴦 鴛鴦(鴛・阿曾沼) おし鳥
- 8 その他の鳥 燕 仏法僧 鳟洞 根元鶴 千鳥川 鸚鵡僧
- 9 蝶 胡蝶 蝶鳥 虫の恨
- 10 蟋蟀 きりぎりす さむしろ 後京極 鈴虫

第十一 名勝

嵐山 安井 絹川 杉 長柄甲(長柄橋乙) 長柄乙 長柄人柱(長柄橋甲) 出雲井
 真名井原(学の原) 姨捨(姨捨山・姥捨・伯母捨) 草津 久能 塔沢 錢掛松 曾根松
 龍松(りゆうしょう) 延寿桜 樺桜 涼 東山 吹上八景 武者桜 三股 紅葉見

- | | | | | | | |
|----------|----------------|---------------|----------------|-------------------|---------|---|
| 11 その他の虫 | 螢(浅茅が原・浅茅螢・浅茅) | 糺の杜 | 孫三郎(織殿) | 白身(はくしん。風) | | |
| 12 蛙 | 蛙甲(住吉蛙) | 蛙乙(根元蛙) | 蛙丙 | すみよし蟻(第五仇討の三にも掲出) | 岡本寺 | |
| 13 魚・貝 | 白魚(喜慶) | 鯉魚(鯉) | 蟹が窟(かにがいわや) | 蛸薬師 | 江豚(いるか) | 鯨 |
| | 明州(みょうじゅう) | 合浦甲(かつほの玉) | 合浦乙 | 浜土産 | | |
| 13 雜 | 隠里 | 蛇雉子 | 河童(竹中実作) | | | |
| 三天象 | | | | | | |
| 1 雪 | 雪鬼 | 雪鬼(復曲本。西野春雄作) | 雪女甲(雪翁・雪折竹・四季) | 雪女乙(室山三柳作) | | |
| | 雪甲 | 雪乙(金剛流現行曲) | 白 | 松の雪 | | |
| 2 露 | 春日野露 | 露(武蔵野の露) | 玉江橋 | | | |
| 四 貨幣 | | | | | | |
| | 駒牽(こまひき) | 滑川(なめりがわ) | 和銅(和銅錢?) | | | |
| 五 雜 | 千引(千引石) | 貞(たばこ) | 武蔵野盃 | | | |

百紅葉(染井) 二本杉(御佐尾) 両国(大和田建樹作) 印杉 反橋 誕生石 難波津
琵琶池

第十二 祝 言

翁(式三番) 鶴亀(月宮殿) 鶴亀之中 大内裏 根芹(芹) 若菜の野辺 蓬萊山
橘丙 和泉賢将 菖蒲の戦(あやめのいくさ) 松の時雨 千秋舞(千祝舞。高木半作)
長生殿 千歳 松枝 六神 年男 盆正月 森の翁(田中可然作) 君が代(里見岸雄
作) 大典(藤代禎輔作) 平安(大典の改作曲) 靖国(筑波藤磨監修)

第十三 近世・近代戯謡

一 戯謡・肴謡・笑謡

江戸鹿子(五尺手拭) 世話焼鹿子(世話鹿子)
当飲長範(あてのみちょうはん) 石原薬罐(いしはらやかん) 有頂天物語 口車(くちぐるま)
娑婆弥次郎(弥次郎・喻草へたとえぐさ)・譬諧 目明仙人 玉簫(第六の七雑にも掲出)
塵塚 假上松風
喜寿(若林勇二作) 福神(神谷市太郎作)
累(かさね) 七乃夕部(ななつのゆうべ) 波分船 鳴神
閼雎(かんしょ) 葛覃(かつたん) 卷耳(けんじ)
樺木(きゅうぼく)

第十四 江戸・明治・大正・昭和の時事

一 江 戸

夏虫(なつのむし) 恋の火 清十郎(姫路。第六の六一恋にも掲出) 両国橋(回向院甲。第八社寺伝説の五十八武藏にも掲出) 酒中花 晦丸(苦楽丸・晦手作) 宝永参宮(第八の八伊勢にも掲出。宝永前後に盛んに作られた参宮物の例として重出) 泷千 梅田橋 浮ふ瀬(うかむせ) 閣龍(ころんびやす。攘夷) 燃葉庵(たきばのいおり) 白虎隊(竹中実作)

二 明 治

鹿児島(薬師川知通作) 勝軍の祝(高木半作) 祐亭(片山てる子作) 御国光(毛利元徳作) 旭桜(大野徳孝作) 鶩(池内信嘉作) いくさ神(広田花月作) 二見(市川量造作) 征露の談(高木半作) 高千穂(小池靖一作) 資時(池内信嘉作) 爾靈山(竹中実作) 希典(杉江游霍作) 乃木夫人(阿城篤作) *海戦(五十嵐正綱作) *神風(梅津只圓作) 天長節(森村三笑作) 松原詣(加藤恒作) 鹿の瀬(平瀬春愛訂補) 夢幻(正岡子規作) 花見書生(大和田建樹作)

三 大 正

足尾銅山(王孫子作) 武蔵野(都築甚之助作) 珠鑑(同上) 三保(同上) 復興(松井小洞作)

四 昭 和

朝日新聞(岡野養之助作) 興亞の光(同上) 忠靈(浅見真健作) 皇軍鑑(みいくさぶね。佐吉小尉作) 飛龍(竹中実作) 水漬屍(同上) 八咫鳥(同上) 撃ちてし止まん(竹腰健造作) 萬里長城(斎藤香村作) 護法還元歌(田中智学作) 海靈(宮腰賢治作) 原爆(竹中実作) 炎(堂

本正樹作) 無明の井(多田富雄作) 望恨歌(同上)

第十五 西洋の戯曲・詩歌・伝説

一 西洋の戯曲・詩歌

鷹の泉(W・B・イエーツ原作・横道萬里雄作) 鷹姫(同上) 鷹井(W・B・イエーツ原作・高橋睦郎作)
女と影(P・クローデル原作・木村太郎訳・泉嘉夫作) 半獸神の午後(S・マラルメ原作・木村太郎訳・泉嘉夫作)

二 西洋の伝説

解放(堂本正樹作) 水(同上) 滅亡(同上) 魂の宴(高橋睦郎作)

三 英語能

能ハムレット(宗片邦義作) 能マクベス(同上) 能オセロー(同上。日本語でも上演された)
聖・フランシス(アーサー・リトル作。第二高僧聖賢の四キリスト教の項にも重出)
イライザ(アレン・メレット作) 漂炎(ジャニー・バイチマン作)

おわりに

丸岡桂著『古今謡曲解題』の精神を継承して、室町時代から現代までに作られた古今の謡曲を鳥瞰できる『新古今謡曲解題』(仮称)を作成したいという願いから、解題の作成作業を続けていたが、完成まではまだ時間がかかるので、これまでの調査・研究の成果を基に、本稿では、その分類の枠組みと総曲名を提示した。

都合により上下に分載したため利用しにくくなつた点は申し訳ないが、前稿発表後にも新発見が続いた。たとえば「第八社寺伝説」の七近江の項目に示した「扇塚」である。これは近世の名寄の類にも見えない未知の曲で、観世流シテ方で蔵書家の河村隆司氏から御所蔵の謡本を拝見させていただいたものである。また『読売新聞』明治十七年三月二十八日の寄書（よせぶみ）に大和田建樹が神田太夫の筆名で投稿した「花見書生」や同じく『読売新聞』明治十七年三月十九日の同欄に載っていた「清正」で、「扇塚」「花見書生」「清正」については『宝生』平成五年九～十一月号の拙稿「佚曲再検」で紹介した。一方、平成五年夏に北川忠彦氏から氏が二十代前半の頃に新作された額田王をシテとする「熟田津」（宝生弥一節付・筆写）のコピーをいただいた。この曲は「第三歌人及び俊秀」の項の一歌人の2額田王に追加し、また氏の故郷松山の熟田津の風光を描いてるので「第八社寺伝説」の甘伊予にも掲出した。

さらに平成五年十一月には、さきに心臓移植をテーマにした能「無明の井」を創作して話題となつた多田富雄氏の二作目の新作能「望恨歌」が初演された。これは今次大戦中の朝鮮人連行事件に取材した異色作である。

また私事で恐縮ながら、平成三年十二月の国立能楽堂第三回研究公演の「当願暮頭」では能本作成を担当し、原作にない、冒頭のワキの名ノリ、クリ・サシ・クセ、法華八講の声明・行道といった仏事を大幅に採り入れ、中入場のアイのセリフやワキの語りなども創作して、伝存本とはだいぶ趣きの変わつた能本を作成したし、平成五年十二月の第四回研究公演では復曲「雪鬼」の能本作成を担当した。同年六月の能劇の座公演では復曲「実方」の能本を作り、平成六年七月に能劇の座で復曲予定の「松山天狗」の能本も作成した。

このように、近年盛んに行われている復曲能や新作能を反映して、復曲能本や新作能本も今後増え続けて行くに違ひなく、補訂を重ねて行かねばならないが、ともかく、現時点でも蒐集し得た二六三一番を数える古今の謡曲を、その作品の主人公・素材・主題などを勘案した分類によつて鳥瞰できるようにした骨組みが本稿「古今謡曲総覧」である。

これを通覧しただけでも、どのような人物や事件なり素材が能に取り上げられているか、人気の高い人物は誰か、およその傾向を知ることができる。

そして、古代から現代に至る古今の歴史上の人物はもちろん、その描く世界は「熊野」の一節ではないが「老若男女貴賤都鄙」、まさにあらゆる地域や階層に及んでいる。「錦木」のように陸奥の名もない若き男女の恋の物語から「今生源太夫」のような南国土佐の伝説や、「凱門山」「影向滝」のことき薩摩の名勝まで、日本国六十余州はもちろん、唐土・天竺、エジプト、北欧、はては英語能「漂炎」のように宇宙の星雲にまで及ぶ。そればかりではない。久方の天に輝く月や星から、春夏秋冬、四季折々の花や草木、鯨魚いきな取る海に棲む魚や貝、玉藻なす寄り来る海の底に眠る人魚まで、生きとし生けるもの、そして死者の魂まで、森羅万象、ことごとくが能に取材されていることも分かる。とくに第十の精魂を主題とする作品が以外に多いのに驚かれるに違いない。草木、魚鳥、虫、獸はいうまでもなく、雪や露といった天象の精から、石・貨幣・器物などの精魂までが登場する。

ともあれ、詳しくは近い将来の刊行を夢見ている『新古今謡曲解題』(仮称)に譲り、今後とも能本の精査・博搜に努めて、補訂してゆきたいと考えている。本稿を成すにあたり、番外曲研究の推進者田中允氏から数多くの御教示をいただきことを記し、また新資料を提供された河村隆司氏・前西芳雄氏をはじめ、お世話になつた方々に感謝申し上げ、今後いつそう各位の御教示をお願いして、ひとまず本稿を終えることにしたい。なお、前稿の追加・訂正と、検索の便を考慮して古今謡曲曲名索引を付載した。

本稿は平成2年・3年度文部省科学研究費補助による一般研究C「謡曲解題の作成と能本研究」の成果の一部である。

(丸岡桂の命日二月十二日成稿)

〔追加・訂正〕

- 1 第一古代史の一日日本古代史の5日本武尊に「白鳥」を追加。三古人の3吉備真備の「吉備」は「吉備公」の誤り。
- 2 第二高僧聖賢の一高僧の16日蓮に「蓮華譚（小湊）」を追加。同じく二その他の宗教者の「首途」のあとに「発向」「双面」「虎石」を追加し、「竈之神」に別名「破竈墮」を追加。
- 3 第三歌人及び俊秀の一歌人の1衣通姫に「藤原宮」を追加し、2額田王に「熟田津」を追加。
- 4 同じく一の3柿本人麿の次に4山上憶良を立項し「水城」を掲出。8在原業平に「東の旅」を追加。
- 5 同じく19紫式部に「紫式部」を追加。37の「うたゝの橋」は「うたゝねの橋」の誤植。
- 6 三の1楽舞に「怜倫」「須磨山路」を、2兵法に「駒争」を、3茶・花の「利休」の次に「利休居士」を、「紅葉合」の次に「法隆寺甲（花揃・立花伝。第一の三の5上宮太子にも掲出）」を、6占方に「九日（九日橋）」を追加。
- 7 同じく五雜の1風流・数寄者に「雲林院佐国（うじいすけくに）」「花実童子（花実）」を追加。
- 8 第四武人の2の「信夫乙」の別名欄の「信夫 景時」は「信夫景時」の誤植。
- 9 同じく三の保元・平治の乱の「讃岐院」に乙を付ける。同じく四の鬼界島の流人の項目「いわうが島」の次の「成経」は誤つて重出したので削除。同じく五の源頼政の項に「現在頼政」「木の下（このした）」を追加。
- 10 同じく七の平家一門の2平清盛に「法印問答」を、4平維盛に「奄六代」を追加。8平知盛の「西国廻」は「西国下」の誤植。16平教経に「教経丙」を、24景清に「一夜景清」を、27その他に「御影堂」「春」を追加。
- 11 同じく九の2源義経の「八島」の別名に「八島判官甲」「衣川乙」に別名「髻判官」を加え、「四国落乙」を追加。
- 12 同じく九の3武蔵坊弁慶に「吉野判官」を追加。4那須与一の項の括弧の「母衣甲」は誤つて重出したので削除。

- 13 同じく十源頼朝及びその一党の13その他の「直家」を「直家乙」とし、「水嶋太郎」を追加。
- 14 同じく十四元弘の変に「高貞乙(塩谷判官)」を、十五楠木氏及び南朝の「弁内侍」のあとに「髻塚」を、末に「義貞(足羽川)」を、十六足利氏に「義教」を、それぞれ追加。
- 15 同じく十九豊臣氏とその一党の「加藤清正」のあとに「清正」を追加。廿雜【日本】の「真鳥甲」に「宿禰・兼道」の別名を加え、この項の末に「氏茂」「栗橋」「頬方」「盛愛(もりざね)」を追加。
- 16 第五仇討の一曾我兄弟の頃の「小袖曾我」のあとに「小袖乞」を、三雜に「直家甲」を追加。
- 17 第六世話巷説の一主従の「武文」のあとに「松浦五郎」を、二親子の「逢坂物狂」のあとに「多度津左衛門」「多度津左衛門(復曲改作本)」を、「隅田川」のあとに「梅若丸(梅若)」を、「生贊」のあとに「松浦姫」を、「ひこの山」のあとに「雪比丘尼」をそれぞれ追加。三兄弟の「青柳」は誤つて重出したので削除。
- 18 同じく四夫婦の「松浦物狂甲」の別名「俊貞」は「貞俊」の誤植。これに続けて「松浦物狂乙」を追加。この頃の末に「鶴」「昆陽池」を追加。
- 19 同じく五孝子・節婦の1日本に「孝婦」「三人孝乙」「望夫山(望夫石?)」を追加。
- 20 同じく六恋の1恋の項の「恨塚」は「恨鏡」の誤植。「梯の井」のあとに「梯の笠」「難波土産(なんばづど)」「布引滻」「柳刀」を追加。なお「歌舞伎(名古屋甲)」は第三の四4淨瑠璃・歌舞伎に重出。
- 21 同じく六恋の2稚児・男色の「白菊」に甲を付す。
- 22 同じく七雜【日本】の「関原」に甲を付し、この項の末に「由良の長」「横山入」「燈台」「女鯉屏風」「草枕」「夢」「欲闇」を追加。なお「鸕鷀鳥」は八雜【中国】の項にも重出していたので削除。
- 23 同じく中国の「石竹」は「石竹甲」とし五孝子の2中国に移し、末に「瓜盗人(瓜・瓜忍)」「螺女(にしめ)」を追加。

金玉羽衣	桐の小林	桐壺甲	桐壺乙	金印	京妻	教信	上 76
下 68	上 83	下 65	上 53	下 65	上 83	上 78	上 76
魚鳥	銀閣寺	玉泉坊	堯舜	行幸	清正	清澄	清澄
上 82	上 82	下 59	上 87	上 85	上 82	下 66	下 66
楠露	楠正成甲	楠花櫓	楠の木	九十賀	鯨	草薙行平	久賀躬
上 65	上 81	上 82	上 82	上 71	下 73	上 80	下 64
國栖	国治	國久	國玉	國久	九穴貝	久賀躬	銀山
口車	屈原甲	屈原乙	屈原乙	屈原乙	上 64	上 64	下 60
暗峠	晦丸(苦樂丸)	晦丸(苦樂丸)	晦丸(苦樂丸)	晦丸(苦樂丸)	下 75	下 75	上 71
位山	黒谷乙	黒谷乙	黒谷乙	黒谷乙	上 83	上 83	上 71
雲山天狗	久米路	久米(久米仙人)	くまの詣	熊野参詣	熊手八島	熊がひ	九世戸
下 69	下 53	下 68	上 85	上 85	上 78	下 71	下 59
黒駒	黒川乙	黒池龍神	吳原	吳服	栗柄野	鞍馬判官	鞍馬天狗
下 57	下 87	下 64	上 71	下 56	上 71	上 80	上 78
劍珠	巻耳	顯昭	兼載桜	兼好法師	栗柄桜甲	俱利伽羅落	鞍馬源氏
下 58	下 74	上 71	上 72	上 71	下 64	上 78	上 75
現在敦盛	現在善知鳥	現在鶴飼	黒主甲	黒主甲	上 69	上 81	位山
現在星降甲	現在忠度丙	現在忠度乙	現在忠度甲	現在忠度甲	下 58	上 67	上 66
現在江口	現在七面	現在七面	現在七面	現在七面	下 61	下 67	暗峠
現在祇王	現在祇王	現在祇王	現在祇王	現在祇王	上 77	上 67	黒谷乙
現在女郎花	現在女郎花	現在女郎花	現在女郎花	現在女郎花	上 71	上 87	黒谷乙
現在熊坂乙	現在熊坂甲	現在熊坂甲	現在熊坂甲	現在熊坂甲	上 80	上 87	黒谷乙
現在信夫	現在信夫	現在信夫	現在信夫	現在信夫	上 81	上 63	黒田ヶ淵
現在殺生石	現在殺生石	現在殺生石	現在殺生石	現在殺生石	上 81	上 68	黒谷乙
現在星降甲	現在忠度丙	現在忠度乙	現在忠度甲	現在忠度甲	上 72	上 68	黒谷乙
上 67	上 77	上 77	上 77	上 70	上 74	上 72	黒谷乙

89 古今謡曲総覧曲名索引

獅子縁起	下	57	石橋	下	70
宍戸	上	84	沙那王	上	78
鹿がり	上	80	忍岡	下	55
しその梅	下	71	忍岡	下	87
静	上	79	しのびのおか	上	85
七面	下	55	婆娑弥次郎	下	78
七騎	下	74	祝言橋立	下	70
舌切雀	上	71	祝言猩々	下	70
滴森	上	70	舍利	下	70
下紐関	下	75	沙那王	上	78
七騎落	上	80	朱雀門	下	70
七人猩々	下	72	朱雀門	下	84
七人猩々	下	71	朱雀門	上	59
七人猩々	下	70	朱雀門	上	70
七面	下	69	朱雀門	上	73
七面	下	66	酒宴曾我	下	74
四町	上	73	信夫景時	上	87
四天王寺(太子)	下	69	信夫甲	上	85
四天王寺	上	65	信夫乙	上	75
使徒バウロ	下	55	信夫太郎	上	75
志渡寺	上	71	柴田(柴田討)	上	82
信濃杜若	下	71	司馬温公	上	88
篠塚	上	81	柴舟	上	82
篠塚(篠田)	下	71	泗浜石	上	72
清水冠者	上	87	朱点童子	下	75
石塔寺	下	58	酒中花	下	75
四面楚歌	上	83	朱点童子	上	73
白雲夫人	下	68	酒吞童子	下	74
白菊乙	上	87	酒德猩々	下	70
白菊甲	下	55	俊寬	上	75
白川閑	下	68	俊成忠度	甲	上
白川	下	66	俊成忠度	乙	上
白いと	上	74	俊寬僧都	上	75
紫陽山	上	70	俊寬僧都	下	70
書写性空	下	67	俊寬	上	75
書写桜	上	60	俊寬	下	75
書写鏡	下	67	式子内親王	上	71
織女	下	68	式子内親王	上	83
諸葛亮	上	83	諸葛亮	上	83
聖宝	下	57	諸葛亮	下	68
正尊	上	78	聖宝	下	83
猩々前	下	69	正尊	上	83
猩々甲	下	69	猩々前	下	69
猩々乙(現行曲)	下	74	猩々乙(現行曲)	下	74
聖光寺	下	56	白玉龍神	下	63
証悟の弥陀	下	78	白玉龍神	下	69
不知火	下	63	白根嵩	下	69
白滝の前	下	69	白根嵩	上	78
白はたのみね	下	55	白旗	上	78
白はたのみね	下	63	白旗宮	上	78
白大夫甲	下	61	白旗明神	上	78
白大夫乙	下	61	白旗明神	下	78
新鳴立沢	上	71	白山	上	75
新庄	下	61	白山	下	75
神草	上	66	白鬚(白鬚)	下	58
照巖寺	下	66	白鬚(白鬚)	上	78
將軍塚乙	下	56	白峰	下	61
將軍塚甲	上	66	白峰	上	74
昭君	下	84	印の杉	下	74
正儀世守	上	73	印の杉	上	87
小学	上	73	白目	上	87
青衣女人	上	85	白目	下	74
松鶴西王母	上	68	白雀	下	62
俊成忠度甲	下	70	白雀	上	79
俊成忠度乙	上	77	白雀	上	71
俊寬僧都	上	77	白鳥	下	62
俊寬僧都	下	71	白鳥	上	79
俊寬	上	77	代主	下	61
俊寬	下	70	代主	上	79
織女	上	70	白峰	下	61
織女	下	68	白峰	上	79
諸葛孔明	上	83	白雀	上	79
諸葛亮	上	83	白雀	下	71
諸葛亮	下	68	白雀	上	71
聖宝	下	57	白雀	下	71
猩々前	下	69	白雀	上	71
猩々甲	下	69	白雀	上	71
猩々乙(現行曲)	下	74	白雀	下	71
聖光寺	下	56	白根嵩	上	78
白大夫甲	下	57	白根嵩	下	78
白大夫乙	下	61	白旗宮	上	78
新鳴立沢	上	71	白旗明神	上	78
新庄	下	61	白旗明神	下	78
神草	上	66	白山	上	75
照巖寺	下	56	白山	下	75
將軍塚乙	下	56	白山	上	75
昭君	上	84	白山	下	75
正儀世守	上	66	白山	上	75
小学	上	73	白山	下	75
青衣女人	上	85	白山	上	75
松鶴西王母	上	68	白山	下	75
俊成忠度甲	下	70	白山	上	75
俊成忠度乙	上	77	白山	下	75
俊寬僧都	上	77	白山	上	75
俊寬僧都	下	71	白山	下	75
俊寬	上	77	白山	上	75
織女	上	70	白山	下	75
織女	下	68	白山	上	75
諸葛亮	上	83	白山	下	75
諸葛亮	下	68	白山	上	75
聖宝	下	57	白山	下	75
猩々前	下	69	白山	上	75
猩々甲	下	69	白山	下	75
猩々乙(現行曲)	下	74	白山	上	75
聖光寺	下	56	白根嵩	上	78
白大夫甲	下	57	白根嵩	下	78
白大夫乙	下	61	白旗宮	上	78
新鳴立沢	上	71	白旗明神	上	78
新庄	下	61	白旗明神	下	78
神草	上	66	白山	上	75
照巖寺	下	56	白山	下	75
將軍塚乙	下	56	白山	上	75
昭君	上	84	白山	下	75
正儀世守	上	66	白山	上	75
小学	上	73	白山	下	75
青衣女人	上	85	白山	上	75
松鶴西王母	上	68	白山	下	75
俊成忠度甲	下	70	白山	上	75
俊成忠度乙	上	77	白山	下	75
俊寬僧都	上	77	白山	上	75
俊寬僧都	下	71	白山	下	75
俊寬	上	77	白山	上	75
織女	上	70	白山	下	75
織女	下	68	白山	上	75
諸葛亮	上	83	白山	下	75
諸葛亮	下	68	白山	上	75
聖宝	下	57	白山	下	75
猩々前	下	69	白山	上	75
猩々甲	下	69	白山	下	75
猩々乙(現行曲)	下	74	白山	上	75
聖光院	上	73	白根嵩	上	78
自然居士	上	67	白根嵩	下	78
自然仏石	下	61	白旗宮	上	78
自然物狂	上	67	白旗明神	上	78
寂光院(大原入)	下	61	白旗明神	下	78
寂光院	下	55	白山	上	75
寂光院(大原入)	上	67	白山	下	75
自然居士	上	67	白山	上	75
自然仏石	下	61	白山	下	75
自然物狂	上	67	白山	上	75
寂光院	下	55	白山	下	75
寂光院(大原入)	上	67	白山	上	75
自然居士	上	67	白山	下	75

上宮太子乙	上	87	助成寺(祐成寺)	上	84
淨藏貴所(戻橋)	上	68	すげの小笠	上	87
淨藏貴所(戻塚)	下	68	菅生物狂	上	85
常樂	上	87	勸堂	下	65
沈水香	上	87	鈴落	上	64
淨土真宗	下	59	鈴鹿(鈴鹿姫)	下	70
淨明坊	上	75	鈴鹿御前	下	70
神皇	下	67	鈴鹿田村	下	70
神代桜	下	64	鈴木(鱸)	上	79
沈水香	上	87	鈴木三郎	上	79
常樂	上	87	すず木物狂	上	85
沈水香	上	65	涼	下	73
常樂	上	65	硯破	上	87
須磨行平	上	86	鈴虫	下	72
須磨笛	上	86	雀森	上	77
須磨山路	上	86	須磨源氏	下	54
隅田川	下	71	須磨猩々	下	70
墨染桜	上	72	すま琴	上	77
隅田川の口	上	87	すま琴	下	70
西王母	下	68	すま琴	上	77
清閑寺	下	56	すま琴	下	70
西岸居士	上	67	諏訪龍神	下	62
青海曼荼羅	下	56	諏訪性空	下	64
西阿弥	上	73	すはの明神	下	62
世阿弥憶	上	73	すはの明神	下	62
千人斬	上	69	千手	上	88
袖振山	上	69	千手	上	88
袖の露	上	64	千手	上	88
象頭山	上	88	千手	上	88
象頭山	下	61	千手	上	88
孫次猩々	下	68	千手	上	88
反橋	下	74	千手	上	88
空わらべ	上	67	千手	上	88
空腹	上	67	千手	上	88
虛盲目	上	67	千手	上	88
染衣	上	86	千手	上	88
染川乙	上	86	千手	上	88
蘇武	上	75	千手	上	88
薈麦	下	64	千手	上	88
曾根崎	上	73	千手	上	88
卒都婆流	上	75	千手	上	88
卒都婆小町	上	70	千手	上	88
卒都婆子	上	87	千手	上	88
卒都婆重衡	上	70	千手	上	88
雪月花	上	73	千手	上	88
蟬小川	下	55	千手	上	88
炭火橋	上	68	千手	上	88
善界(是害)	下	69	千手	上	88
善信	下	65	千手	上	88
善御	上	72	千手	上	88
靖定山	下	66	千手	上	88
清十郎	上	83	千手	上	88
西施	上	83	千手	上	88
隅田川	上	70	千手	上	88
隅田川の口	上	87	千手	上	88
善願寺	上	70	千手	上	88
世阿弥再見	上	73	千手	上	88
外浜	上	86	千手	上	88
外浜念佛	上	69	千手	上	88
衣通姫	上	69	千手	上	88

95 古今謡曲総覧曲名索引

班女	下76	蜡が谷	下70
般若櫛	上86	ひぐらし塚	下76
泮林	下67	彦作	上76
范蠡	上81	ひごの山	下55
梅花	上83	彦作	上73
梅勘(梅閑)	上83	ひくの山	下55
芭蕉	下72	人丸塚	上69
婆相天	上85	一本菊	下72
馬頭婦人	上88	一夜川	下62
盤石天狗	下66	常陸帶	下66
馬融甲	上72	彌星	下68
馬頭涙	上86	緋桜	下62
萬里長城	下75	高川甲	下68
原木	下66	高川乙	下59
万歳羽衣	下68	飛驒工	上72
比叡山	下58	費長坊	下68
火上	下64	日高川	上86
光源氏	下54	日高川	下59
日上(景見)	下58	羊	上86
比良山	下67	秀郷	上86
比良の明神	下67	秀次	上82
比良	上84	秀顕	上82
平泉	上76	秀衡	上82
兵庫築島	下76	秀頼	上82
兵庫楠	下76	秀甲	上82
笛物狂	下76	秀乙	上82
笛吹松	下76	秀次	上82
笛吹川	下76	秀頼	上82
風浪	下62	秀衡	上82
藤波	下71	秀次	上82
藤壺	下53	秀頼	上82
富士太鼓	上72	秀甲	上82
藤代詣	下59	富士上人	下65
富士天狗	下69	富士山(富士)	下65
ふじ馴姫	下71	藤崎乙	下63
富士の猪	上88	富士浅間	上72
富士卷狩	上84	藤崎甲	下63
ふじ馴姫	下71	藤崎	下71
不斷桜	下59	二村山	下70
復活	上69	二荒坊	下70
復活のキリスト	下62	二見宮	下70
不斬桜	下62	二見の浦	下59
補陀洛山	下59	二見浦(第六天)	下59
舞楽猩々	下68	一見	下69
仏力景清	下68	二柱	下58
仏力判官	上77	二見	下75
舞樂猩々	下68	降籠	上87
豊干(豊干禪師)	上77	文割	上86
武王	上66	文削曾我	上84
布留明神	上77	文僧都	上75
古市龍神	下57	舟戾	上85
古井	下57	船弁慶	上78
ふるつか	下57	船橋	上86
ふるつか	下57	船上山	上82
ふるつか	下57	舟魂	下69
ふるつか	下57	筆論	上73

法事日蓮	放下僧	法海寺(法界寺)	宝永參宮	法印問答	ほ	平安	平太郎(平太)	仏法僧	豊後小手巻	へ	放生会	方寸山	北条
法事静	鳳駕迎	下64	星降(星下)甲	下59	上77	上80	上81	上84	下80	下79	下57	下62	上82
星天神	星降梅	上67	星合龍神	下69	83	下86	上83	下79	上80	下79	上77	下63	細谷川
穂積明神	上66	上67	上67	下58	上67	下67	下67	下67	上86	下79	下79	下65	穗高
忘恨歌	本願寺乙	下75	母衣那須	上78	下79	上78	上78	下79	上70	下67	上78	下64	牡丹
松尾の浦	籬菊	上80	增穂薄	下85	72	正行	正高	雅木	飯代	法隆寺乙	鉢持	上86	牡丹燈籠(牡丹燈)
松王童子	侯野	85	下82	58	84	上81	上55	下65	上64	下79	下57	下69	上86
待宵小侍従乙	待よひ	上71	待宵小侍従(待宵)	下69	69	座復曲本	松山天狗(能劇の	松山西行	松山鏡	松山	松虫	松原道成寺	松の山鏡
丸本猩々	鞠の黙	下70	鞠(鞠物狂)	上72	86	守	摩耶山	上71	上87	上71	下73	下70	松島俊成
三笠龍神(春日	三笠龍神乙(春日	下69	下69	下58	57	間守塚	下58	下57	下61	下71	下61	下73	松島
龍神)	三笠龍神甲(三笠	67	見返仏	御蔭雨	御影山	三尾龍神	水尾山	身壳	身壳兄弟	松浦姫甲	松竹乙	松竹甲	木劍
	希典	下75	万戸	万葉菊	万靈和尚	み	三井(三井水)	三尾	三尾	下69	下84	下74	下64
	満仲	下61	下72	下84	上83	み	三井	下58	下58	下80	下62	下53	下64
	万靈和尚	上84	上72	下72	下84	み	三井	下75	下80	下69	下62	下53	下64

97 古今謡曲総覧曲名索引

三上藤太	下70	六田淀	下71
三河猩々	下70	六浦	下72
三河千手	上87	六浦紅葉	下72
御国光	下75	六浦楓	下72
御輿振	上75	六浦	下74
御駒乗	上72	武塔天神	上64
御崎	上64	棟渡	上68
三島	下65	宗忠	上68
身すて松	上88	宗貞	上69
水	下76	百足	上66
水鏡	上84	昔千手	上77
水海	下56	昔歌舞伎	上73
水潛	下86	昔男	上69
水城	下75	無庵上人	上76
みそぎ川	下79	も	
水嶋太郎	下80	正月桜	乙
水汲	下86	睦月桜	甲
深谷菊	下58	鞭文覚	乙
御菩薩池	下86	夢幻	下75
三保の景	下56	媚入自然居士	上67
耳無山	下56	むこの梅	上82
御台巴	下76	武藏鎧	下65
通盛	上77	武藏塚	上65
小宰相	事	武藏野	上69
三の船	上77	武藏野	下75
光季	上81	武藏野(大正新作)	上72
三乙女	下68	武藏野盃	下75
三の船	上72	武藏野露	下75
脉論	乙	虫の恨	下75
脉論	甲	武藏野盃	下75
御裳濯川	乙	武藏野露	下75
御裳濯川	甲	武藏の露	下73
三輪童子	下59	武藏の露	下73
御渡	下59	武藏の露	下73
三輪小手巻	下57	武藏の露	下73
三輪	下57	武藏の露	下73
三渡り	下57	武藏の露	下73
正月桜	乙	武藏の露	下73
室の屋島	上67	も	
室津	上67	餅の宮	下58
室住(室積)	上67	鶲の草茎	下56
も		文字摺	上85
も		目蓮	上68
も		木母寺	下65
も		木食	上84
も		蒙古襲来	上81
も		孟宗	上86
も		最上川	上86
も		乳母六代	上81
も		面塚	上73
も		滅亡	下76
も		盲沙汰	上87
も		女鯉屏風	下80
も		和布刈	下61
も		名所松島	下67
も		名所忠度	上77
も		名月加茂	下56
も		日明仙人	下74
も		持真	上88
も		本末猩々	下69
も		望月	上84
も		求塚	下56
も		戻橋	甲
も		戻橋	乙
も		戻橋(淨藏貴所)	下74
も		基頼	上85
も		紅葉合	上66
も		紅葉狩	上87
も		紅葉賀	下72
も		紅葉見	下73
も		紅葉錦織	下54
も		森戸	上78
も		守屋	上77
も		守屋	上82
も		守屋	上80
も		盛愛	上84
も		盛近	下79
も		紅葉見	下73
も		紅葉賀	下72
も		森の翁	上78
も		守屋逆臣	上74
も		守屋太子	上65
も		守屋	上65
も		師都	もいち
も		もろこしが原	上87
も		もろこを	上87

古今謡曲総覧曲名索引追加

あ～お

か～こ

さ～そ

根元猩々 下70

直家甲 下56

直家乙 下80

髻判官 下79

紫式部 下79

難波土産 下56

やすらまる 下58

柳刀 下55

矢矯 下55

やすらまる 下58

やぐれ

遊薈上人 下56

夢 下80

養老 下64

欲闇 下80

吉野判官 下79

頬方 下80

龍 下56

柳刀 下80

伶倫 下79

酈県山 下80

たゞぬ

舟岡 下71

褒姒 下56

望夫山 下80

多度津左衛門 下80

多度津左衛門(復)

手すさびの池 下80

小袖乞 下80

木の下 下79

雲山嶽 下80

恨鏡 下80

梅若丸 下80

鶴下80

現現在頼政 下79

孝婦 下80

栗橋 下80

草枕 下80

磐山 下60

氏茂 下80

猪忠綱 下79

入江浦 下58

和泉賢将 下74

岩屋不動 下79

東の旅 下79

菖蒲の戦 下74

有馬山 下58

葦六代 下79

花実童子 下79

吉備公 下79

吉備真備 下79

九日橋 下79

吉備津宮乙 下60

西琳寺 下57

三人孝乙 下75

白井松島 下67

四国落乙 下79

石竹 せきしょく 甲 下80

染井 下74

巴園 下68

花西行 下71

藤原宮 下79

百紅葉 下74

二本杉 下74

多度津左衛門 ただつの

多度津左衛門(復)

唐反魂香 とうはんこう

扇の桐 下69

昆陽池 下80

木の下 下79

小袖乞 下80

雲山嶽 うんせんだけ

恨鏡 下80

梅若丸 下80

鶴下80

現現在頼政 下79

孝婦 下80

栗橋 下80

草枕 下80

磐山 下60

氏茂 下80

猪忠綱 下79

入江浦 下58

和泉賢将 下74

岩屋不動 下79

東の旅 下79

菖蒲の戦 下74

有馬山 下58

葦六代 下79

花実童子 下79

吉備公 下79

吉備真備 下79

九日橋 きゅうじき 下79

吉備津宮乙 下60

西琳寺 下57

三人孝乙 下75

白井松島 下67

石竹 せきしょく 甲 下80

染井 下74

巴園 下68

花西行 下71

藤原宮 下79

百紅葉 下74

二本杉 下74

多度津左衛門 ただつの

多度津左衛門(復)

唐反魂香 とうはんこう